

# 令和 6 年度事業報告書 <白楽荘みくに湊・短期入所生活介護>

テーマ：ICT 導入による職員育成と働きやすい職場作りをめざした効果的な利用者支援

サブテーマ：科学的介護（LIFE）活用により、自立支援・重度化防止を重視した質の高いサービスの推進

## 1. 入所者の安全と自立支援を目指したサービスの提供をおこなう(入所)

- ①見守りセンサーを 6 台導入、使用始めている段階。既存のコールマットと併用しながら、リスク回避に努めており、転倒を未然に防げた。
- ②面会時に家族の要望や、入所者の話に耳を傾け、都度傾聴し対応した。1 件受診時に車椅子からの転落による事故が起き、家族から苦情を受けたが、真摯に対応し、何度か話し合いの場を設けることで、信頼関係の回復、入所継続に繋がった。

## 2. 安心して在宅生活が継続できるよう支えていく(短期)

- ①他職種連携の中、情報の共有に努めることで大きな事故もなく、利用者や家族に寄り添うことができた。家族からも「安心して任せられる。元気になった。」と喜ばれる声があり、令和 5 年度に比べ、6 年度は平均で月 4 5 人程の利用者増になった。
- ②職員不足により、日曜が稼働できない状態が続いているが、緊急時や、ケアマネからの要望時には、入院枠にて多床室でショートステイを受け入れ、柔軟に対応できた。

## 3. 魅力ある職場を作り、働きやすい環境を作る

- ①ICT 機器の導入に向けて、毎月 ICT 委員会を開催。各チームから責任者と、中心となる職員が参加し、業者を交えて、事前導入に向けての説明や勉強会を実施し、大きな混乱なく準備に取り組むことができた。
- ②職員の面談を行い、現状を確認し、悩みを共有し、離職を防ぐことができた。また、計画的に有給休暇を取得し、職員のリフレッシュに繋げることができた。